

大人

ほきたるえ

「校訓とともに」

じぶんから みんなと いっしょうけんめい

子ども

おみやり

長崎市立外海黒崎小学校
令和6年度学校だより
令和6年6月7日(金)
校長 溝川 浩

～梅雨入り前に運動会無事終了～

いよいよ梅雨入りのようです。予報では傘マークが連日の模様。予想雨量もご確認願います。冬には寒さを、夏には暑さを楽しむといった感覚は、四季を毎年経験する日本(に暮らす)人特有のものといわれます。それほど私たちは季節と上手に向き合い、よりよく暮らせる工夫を身につけてきたということです。四季のない国からは、自国にない季節を求め日本を訪れる方も少なくありません。梅雨があってこそ日本です。台風についてはあまり歓迎しませんが・・・。

運動会も他国の学校にない文化。家族や地域で楽しめる文化を大切にしていきたいものです。5/19運動会には210人の方々に来場いただきました。改めてお礼申し上げます。

学校運営協議会の設置が 承認されました

先日、本校の学校運営協議会設置について市議会で承認されましたので、お知らせいたします。

自治会、育成協、育友会をはじめ町内の施設や団体の代表で組織される学校運営協議会は、子どもや学校さらには元氣な街づくりに関わっていくことになります。

学校運営協議会の設置により、本校がコミュニティ・スクールとして正式登録され、住民の皆様の思いをより反映させた教育活動を進めていくことになります。

<今後短期の見通し>

- ・7月に第1回学校運営協議会を本校で開催予定
- ・この街にふさわしい協議会のサブネームを検討中
- ・学校運営協議会の設置後、実働組織も企画予定
- ・2学期に全校で「ふるさと遠足」を実施予定。低・中・高に分かれ、街の名所を探訪します。保護者、住民の方の参画について学校より提案します。

なお、長期的な見通しについては、協議会で話し合い、具体的な目標や取組を計画していく予定です。今後、進捗についてあんしんメールでお伝えします。

地域とともにある学校(紹介)

神浦小、外海中の先生方 十人
今年度は、本校プール清掃に近隣校から先生方のご協力をいただきました。児童数が減る中の大人の支援に感謝です。神浦小、外海中の両校長先生のご配慮に心よりお礼申し上げます。

長崎西彼農業協同組合様
今年も黄色の傘を寄贈いただきました。毎年いただいていることを「あたりまえ」と捉えず、「ありがたい」と思えるよう指導してまいります。なお、寄贈傘については忘れた児童への貸出用に使用させていただいております。

バス停、横断歩道、集合場所で見守る保護者様
朝、永田、漁港前、出津のバス停では、我が子や近所の子の登校を見守ってくださいています。ご努力に敬意と感謝です。

見送ってくれたことを子どもは必ず記憶します。やがて大人になり、我が子や近所の子を見送ることをきつとするとしよう。これこそ家庭や地域による教育の伝承です。

外海黒崎小 いまとこれから

★水泳学習は中旬過ぎから

先日プール清掃完了。現在プールに注水中。水泳学習については別途連絡のとおりです。命に関わる教育活動ですので、登校前の健康確認についてどうぞよろしくお願いいたします。

★29(土)AM 土曜授業お待ちしております

授業参観、懇談会(保護者のみ)、被爆体験講話、引き渡し訓練(保護者のみ)等、プログラム満載です。ご家族やご近所の方などお誘いのうえ、お子さん、お孫さん、地域の子どもの学ぶ姿をどうぞご参観ください。(別途案内済)

★運動場体育倉庫の修理完了

児童の出入りが可能になりました。長らくお待たせいたしました。

★通学時の自家用車乗入れがなくなりました 感謝です!

長年の課題でした一部保護者(許可2家庭以外)による通学時の送迎入構が解消されました。鍛え褒める本校教育にご理解いただき、感謝申し上げます。

★1年生みんな元気に登校できています

保護者や兄弟の助けを借りて安全に登校できています。これまでの1年生もそうでしたが、門や職員室前での挨拶が元氣よく、私たち職員が元氣をいただいています。

本校 R6 重点取組[学校だより発行の都度、取組の具体について記載していきます]

[体力]そとめ体操に取り組ませ、筋力・柔軟性・リズム感を鍛えます。

行事の準備に振り回されず、日々の授業に力を注ぎ、宿題を課して家庭学習を補います。

運動会が終わり、各学年で計画を立て活動始める模様。乞うご期待。

ふるさと教育をとおして
自分の町・家族・学校を語り
自慢できる心と力を育てる

学力調査(4月、12月)
で前回実績を上回る

学校評価でわかった課題
「ルール・マナー」「家庭学習」
「体力向上」の改善

〔学校教育目標〕

校訓「じぶんから みんなと いっしょうけんめい」
の具現化をとおして、
社会を生き抜く力を身につけた
子どもを育成する。

文の意味理解が苦手な子が多い
です。できる子に共通すること
は話と本が好きなどところす。

鉛筆の正しい持ち方、
正しい書く姿勢
の習慣化

大学体験を契機に
自分の生き方について
思いや考えを深める

本校の慢性的な課題
「書く力」「話す力」「話し合う力」
が向上する取組

指導教員の言葉かけ、
管理職の授業観察をと
おして、意識化と習慣
化を促しています。

保護者の方も、我が子の状況に
ついてご自宅で確認のうえ、小
学校卒業までは粘り強くご指導
ください。中学生になったら改
善は困難になります。

各学級で担任が授業ル
ールや宿題の在り方を
示し、継続して取り組
ませています。

忘れ物、宿題忘れが気になる子が
います。

6月は子どもの交通事故が最も多い月とのこと

「6月＝雨の日が多く見通しが悪くなりがち＋日照時間が長く子供が遅くまで外遊びしがち」
先日、ニュースで知ったことです。「なるほど・・・」と思い、情報提供します。

我が子への注意喚起だけでなく、大人の私たちも、運転の際は子どもの急な飛び出しも予測する必要があります。お互いに気を付けてまいりましょう。

〔参考〕

- ★子どもは一つのことに夢中になると周囲に対する「危険予知アンテナ」がOFFになります
- ★子どもは歩道で驚くようなことがあると身を守るために無意識に車道に飛び出します
- ★子どもは成長途上なので自転車操作を誤り急に進路を変えたり転倒したりします